

平成29年度
学校だより
NO.12



甲府市立大國小学校

大國の子

H30. 3. 23 発行 校長：保坂和彦

— 学校教育目標 —

「心豊かで、知性に富み、たくましく主体的に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

○思いやりの心を持ち、助け合う子ども

○よく考え、自ら学ぶ子ども

○心身ともに健康で、進んで行動する子ども

一年間ありがとうございました！！

桜のつぼみも膨らみ始め、あたたかな日差しが春の訪れを感じさせる季節となってきました。

平成29年度も本日を持ちまして、無事に終わることができました。この一年で子どもたちは、心も体も大きく成長しました。

日々の生活の中では、楽しいことばかりでなく、辛いことや苦しいこともたくさんあったと思います。しかし、それらを乗り越えたからこそ、今の成長した自分があるのではないのでしょうか。ご家族で、子どもたちの成長をともに喜んでほしいと思います。

この一年、保護者の皆様、地域の方々には、いろいろな面でご支援ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。



6年生に感謝する会 ～感謝の気持ち～

3月2日（金）には、6年生に感謝する会が行われました。保護者の皆様にもご参加いただく中で、5年生が中心となった実行委員会が企画・運営して会が進められました。今年は、2部の形式の中で、昨年までの「6年生を送る会」から、感謝の気持ちを一人一人に送りたいという願いから「感謝する会」と名称を変えて実施しました。第1部は、昨年までとほぼ同じ形で、6年生と在校生の全員が体育館に集まり、最初にスポットライトに照らされる中を、6年生が一人一人入場し、将来の夢や思い出が紹介されました。その後、全員で歌を歌ったり、呼びかけを行ったりしました。6年生からも卒業式に歌う曲を披露してくれて、とても思い出に残る会となりました。第2部は、縦割り班ごとに教室に集まり、1年間お世話になった6年生一人一人に下級生がお礼を言ったり、色紙のプレゼントを渡したりしました。6年生からは、一人一人が下級生に1年間の感想を話しましたが、どの子もリーダーとして頑張っていたことが分かる内容でした。お世話になった班の6年生一人一人に感謝する言葉を伝えられたことは、下級生にとっても、卒業生にとっても大きな思い出になったことと思います。また、会を企画・運営した5年生も、6年生からのバトンをきちんとつなぐことができたと思います。



たんぽぽ＊なでしこ げき場

6日（火）には、たんぽぽ学級となでしこ学級が合同で企画・運営する「たんぽぽ＊なでしこげき場」が開催されました。合奏の「海の声」では、1年生が砂の音を担当し、その他の子どもたちは、トライアングル、すず、ピアニカ等を演奏しました。担当の村松先生は三味線を弾いてくれました。その後、なでしこ学級は、社会の勉強で調べたことを発表し、たんぽぽ学級は、外国（フィンランド、オーストラリア、バングラデシュ）を調べたことを上手に説明してくれました。最後に、音読劇「あかいろうそく」を全員で行ってくれましたが、笑いを誘う楽しい劇でした。観覧していた1年2組と6年2組の子どもたちには、牛乳パックで作った竹トンボを全員に

プレゼントしました。7人が一生懸命に練習し、頑張った成果がよく見られました。

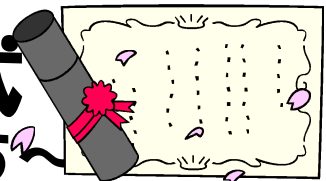


学校関係者評価から

2日(金)には、学校評議員の4名の方々とPTA会長、副会長、学校の三者で本年度の学校関係者評価を行いました。この関係者評価は、平成18年の教育基本法改正により、平成19年に学校教育法の一部改正が行われ盛り込まれたものです。学校関係者評価は、保護者、学校評議員、地域住民、学校の教職員その他の学校関係者などにより構成された委員等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果(教職員のアンケート調査、児童のアンケート、保護者アンケート調査結果)について評価することを基本として行うものです。本年度の学校関係者評価については、本校のHPにアップされていますので、一度ご覧ください。関係者評価で話し合われた内容等についても、掲載されています。

保護者の皆様方には、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。平成30年度の学校経営に生かしていきたいと考えております。

第29回卒業証書授与式 ～感動と涙・87名の巣立ち～



20日(火)は、第29回卒業証書授与式が行われました。卒業式は、厳粛な中にも凜とし、また、さわやかな雰囲気の中で行われました。87名の卒業生は、皆胸を張って堂々と卒業証書を受け取り、別れの言葉や合唱も一生懸命大きな声を出し、感動と涙の中、小学校最後の授業である卒業式を終えることができました。呼びかけの中には、担任や保護者の皆様、関わってくださった方々への感謝の気持ちを表す言葉が述べられました。下級生を代表して参加した5年生も、会場の設営や清掃、呼びかけや合唱、式への参加の仕方等、最高学年へ大きく飛躍するための授業として、立派な態度で臨むことができました。ご臨席いただいた多くの来賓の方々からも、感動した式であったという感想をいただくことができました。87名の卒業生の前途を祝福したいと思います。



学校支援ボランティアの方々へ

畑の土づくりや作物の植付、花づくり等にご尽力いただいた学校支援ボランティアの皆様、また、登下校に寄り添っていただき、子どもたちの安全に気配りいただいた保護者の方々、さらに、学校行事等でお忙しい中を来校いただいた地域の皆様方、大國小の子どもたちのために貴重な時間を割いてご尽力を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

学校だより「大國の子」は、今回が最終号となりました。月一回の発行でしたが、多くの方々から、ご感想をいただき、とても励みとなりました。保護者の皆様、地域の方々本当にありがとうございました。